

復活節第3主日特祷

神よ、誉れあるみ子は、パンを裂くみ姿のうちに、ご自身を弟子たちに示されました。み恵みによって、わたしたちの信仰の目が開かれ、贖いのすべてのみ業のうちに主を見出すことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 ミカ書 4章: 1節-5節

終わりの日に

主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち
どの峰よりも高くそびえる。

もろもろの民は大河のようにそこに向かい
多くの国々が来て言う。

「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。

主はわたしたちに道を示される。

わたしたちはその道を歩もう」と。

主の教えはシオンから

御言葉はエルサレムから出る。

主は多くの民の争いを裁き

はるか遠くまでも、強い国々を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし

槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かって剣を上げず

もはや戦うことを学ばない。

人はそれぞれ自分のぶどうの木の下

いちじくの木の下に座り

脅かすものは何もないと

万軍の主の口が語られた。

どの民もおのおの、自分の神の名によって歩む。

我々は、とこしえに

我らの神、主の御名によって歩む。

日課詩篇 第98篇

- 1 新しい歌を主に歌え。神は不思議なみ業を行われた // その偉大な右手、尊いみ腕は救いの力
- 2 主は救いを示し // 諸国の民に正義を現された
- 3 慈しみとまことをもって、イスラエルの家に心を留められる // 遠く地の果てまで、すべての者が神の救いを見た
- 4 世界よ、主に向かって喜びの声を上げ // 声を放ち賛美の歌で神をほめよ

- 5 豎琴を奏でて主をたたえ // その調べに合わせてほめ歌え
- 6 ラッパと角笛を吹き鳴らし // 王である主のみ前で喜びの声を上げよ
- 7 海とそこに満ちるものはどよめき // 世界とそこに住む者は歌え
- 8 川の流れる手を打ち鳴らし // 山々はともに主のみ前に喜び歌え
- 9 神は世界を審きに来られる // 正義で世界を、公正ですべての民を審かれる

使徒書 使徒言行録 4章5節－12節

次の日、議員、長老、律法学者たちがエルサレムに集まった。大祭司アンナスとカイアファとヨハネとアレクサンドロと大祭司一族が集まった。そして、使徒たちを真ん中に立たせて、「お前たちは何の権威によって、だれの名によってああいうことをしたのか」と尋問した。そのとき、ペトロは聖霊に満たされて言った。「民の議員、また長老の方々、今日わたしたちが取り調べを受けているのは、病人に対する善い行いと、その人が何によっていやされたかということについてであるならば、あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。この人が良くなって、皆さんの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。この方こそ、

『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、隅の親石となった石』

です。ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」

福音書 ルカによる福音書 24章36節－48節

こういうことを話していると、イエス御自身が彼らの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。そこで、イエスは言われた。「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。」こう言って、イエスは手と足をお見せになった。彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。